



やらまいか

クラブテーマ：原点回帰

会長／金田 征宏 幹事／大島 嗣雄 会報委員会／中村 嘉輝・中西 弘徳 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第35回 通算1472回 平成29年3月21日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/4 修正出席率
		61名	32名	55.2%	91.2%

ゲスト：市内5高校の生徒22名 教諭6名 ビジター：(なし)

★会長あいさつ

金田 征宏 会長



こんにちは。今日は、豊川市内の高校の生徒さんと先生方、お忙しい中ご出席頂きましてありがとうございます。日頃は、当

クラブの活動にご理解頂きまして感謝申し上げます。

私どもロータリークラブは、奉仕活動を行っております。ボランティア活動と我々の奉仕活動とは、若干異なりますが、元々は同じ事だと思っております。ボランティア活動は、誰もが同じ豊かな暮らしを目指して、身近なところで出来ることを自ら進んで活動することです。その中の心得が、自主性、主体性、他から強制されたりするのではなく自分の意志で行う活動です。社会性、連体制、誰もが活き活きと豊かに暮らしていけるようお互いに支え合う活動。無償性、無給性、非営利性、報酬などの見返りを求めない活動。但し、出会いや発見、感動、喜び、お金では得られない精神的な報酬を得ることが出来ます。これらを踏まえて、皆さんの先輩がやって来られたことを見習って、今後もボランティア活動に励んで頂く事をお願い申し上げます。

★幹事報告

大島 嗣雄 幹事

例会臨時変更のお知らせ
4月17日の分区ゴルフ大会について

★青少年奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ

土井 昌司 委員長



皆さん、こんにちは。高校生の皆さん、当クラブのボラン・コラボ・穂の国7に参加をして頂きまして感謝申し上げます。引

率の先生方におきまして、この事業にご理解を頂きまして、生徒さんたちがこの事業に参加できるように校内で色々と調整頂きましたことを改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

本来は、6校の皆さんからの報告をして頂く予定をしておりますが、残念ながら豊川高校さんが学校の行事の関係で欠席となりまして、本日は5校の皆さんのボランティア活動の発表になります。

ボランティア活動ということで、振り返ってみますと、我々の高校時代はボランティア活動に参加した記憶が全くありません。その当時の背景をみますと、日本にボランティア活動が根付いていなかった背景があったように思います。日本にボランティアが根付き始めたキッカケは、1995年の阪神淡路大震災と1997年のロシア船の日本海重油流出事故などです。これに多くの人たちがボランティアに参加をしまして、そこでの柔軟な組織、きめ細かな対応、そういうものが認められて徐々に、このボランティア活動が日本に根付いてきたと思われま

皆さんは、ボランティア活動を実際にされている訳で、この活動は、学校生活では得られないことなどが多くあります。色んなことを吸収して学ぶことが出来ると思います。皆さん方の将来において、良い方向に向かうと思います。これからも大いに、勇気を出して、積極的にボランティア活動に参加して頂ければと思います。

今から、高校生の皆さんにボランティア活動の報告をして頂きます。我々も毎回、この発表を非常に楽しみにしています。他校の皆さんと接する機会は、なかなか無いと思いますので、この機会を通じて、色々と懇親を深めて意見交換をして、皆さんの高校生活が少しでも有意義なものになればと思っております。よろしくお祈りいたします。

御津高校の発表



ただ今より、御津高校のボランティア活動について報告させていただきます。

御津高校には、ボランティアをメインとする部活動はありません。活動自体の数は多くありませんが、生徒が自分の意志でボランティアに参加しているため、一つ一つのボランティアに対する気持ちの入れ方は、他の高校に引けを取らないと思っています。

本日は、主に10月から3月の後期の間に生徒会執行部が行った活動と、1年を通して他の生徒が行ったボランティア活動について報告をします。

まず、生徒会の活動を紹介します。10月、私たちは、ふれ愛みんなのフェスティバル2016に参加をしました。これは福祉をテーマにしたイベントです。私たちは、イベント告知のビラ配りやゲームの説明、進行などをしました。また英語スピーチコンテストでは、本校国際教養科の能力を活かし、英語で司会などをしました。

11月には、赤い羽根共同募金を実施しました。朝と昼放下の間、校門や昇降口、購買前で募金を促し、結果25,252円も集まりました。

12月には、赤い羽根共同募金と同様の方法で、地域歳末助け合い募金を集めました。最終的に21,030円を集め、全額、豊橋善意銀行に寄付しました。

1月には、校内に自生していた朝鮮朝顔の伐採をしました。朝鮮朝顔とは、毒性のある植物です。接しすると頭痛などを引き起こす可能性のあるものなので、軍手を重ね、細心の注意を払って作業をしました。

先日の18日には、ここ豊川で開催された「いなりんピック」のおもてなしボランティアに参加をしました。このボランティアでは、願い事を書いてもらう仕事や稲荷ずしの販売などをし、多くの人と触れ合うことができ、とても良い体験が出来ました。

ここからは、他の生徒が行った活動を紹介します。5月29日、豊橋善意銀行主催の善意フェスティバル2016では、豊橋総合動植物公園で福祉施設を利用している子ども達とゲームなどをして共に時間を過ごしました。

6月5日の豊川レリーマラソン2016では、走行中のランナーへの給水やゴールの補助などをしました。

その他にも多数のボランティアに参加しています。

このように御津高校では、様々なボランティア活動を通じて地域に貢献し、豊川、豊橋、蒲郡を中心とする東三河地区の活性化の一端を担っています。ボランティアに参加する我々自身も、校歌でも歌われている、報恩と奉仕の心を深めていけるとと思います。これからも私たちは、ボランティア活動を通じ、地域に愛されるような高校を目指して行こうと思います。ご清聴ありがとうございました。

国府高校の発表



今から国府高校の活動の報告をします。活動を大きく分けると、ボランティア活動と募金活動に分かれます。

ボランティア活動について報告します。学校周辺美化ボランティアが2月期期末テスト終了後、有志を募り行いました。200人ぐらいの生徒が参加してくれ、学校周辺の美化活動を行いました。この活動を通して、地域の方々に感謝の気持ちを伝えるために、みんなで一生懸命にやりました。この活動は毎年行っており、これからも続けて行きたいと思っています。

たけのご祭りでは、生徒会から呼び掛けを行ったことで、昨年よりも多い人数で参加し、

色々な模擬店のお手伝いを手分けして行いました。訪れてくれる人たちが、嬉しそうに食べ物などを買って来て、私たちもの嬉しくなりました。

ふるさと満喫祭りでは、子ども達が遊ぶ広場で、整理券の配布やスムーズに安全に遊べるようにお手伝いをしました。そして、子どもやその家族が喜んでる姿を見て、ボランティアに参加して良かったと感じました。

ふれ愛みんなのフェスティバルでは、豊川市内の高校生たちが自分たちで考えボランティアを行うというもので、1 から内容を考えることは難しかったのですが、やりがいを感じることが出来ました。

募金活動について報告します。生徒会執行部では、3 つの募金活動を行いました。赤い羽根共同募金、鳥取地震募金、糸魚川火災募金です。赤い羽根共同募金は、毎年行っているものですが、鳥取地震募金と糸魚川火災募金は、自分たちで発案して行いました。どの募金も生徒たちや先生方が協力してくれて、沢山のお金を集めることが出来ました。これからはボランティア活動に参加できるような環境づくりをしていきたいと思えます。また、学校内だけではなく、学校外のボランティアにも多く参加して行きたいです。

そして、国府高校は、もうすぐ創立 100 周年を迎えるのですが、国府高校のシンボルツリーのポプラが枯れ始めています。そこで、私たちは、何とかポプラを残して行こうと考え、植樹をしようという考えが生まれました。ポプラを挿し木にして増やして行こうというものです。さっそく行動に移し、今、学校では植樹についての説明会が行われています。長い時間を要しますが、後輩に託して継続していきたいと思えます。きっと、これからのロータリーの報告でも、ポプラの成長を伝えてくれることでしょう。国府高校ポプラの植樹に、乞うご期待です。ご清聴ありがとうございました。

小坂井高校の発表



平成 28 年度、小坂井高校のボランティア活動について報告をします。私たち生徒会は 6 名で活動をしています。本校には、

ボランティア部の様な組織はなく、行事毎に生徒会執行部の呼び掛けで参加者を募って活動をしています。本日は、7 月のボラン・コラボ・穂の国 7 で紹介した部分と重なる部分があるかもしれませんが、どうぞ最後までお聞き下さい。

私は、5 月に豊橋善意フェスティバルに参加をしました。私たちが担当したのは、小学生 2 年生の女の子 2 人でした。私たちは、その子たちがその日を楽しく過ごせるように心がけて接しました。動物園と植物園に行ったり、企業や学校のボランティアが運営するブースでゲームをしました。ゲームに一生懸命に取り組む姿が、とても印象的でした。一緒に過ごした時間は短かったですが、別れる時には淋しくなりました。小学生と触れ合う機会はめったにないので、良い経験でした。

5 月には、豊川市で開催されたおいでん祭のボランティアに 24 人の生徒が参加をしました。B1 グランプリコーナーを担当しました。豊川市の最大級のお祭りで、来場される方も多く大変な行事ではありましたが、地元のお祭りにボランティアとして携われる事ができ、とても嬉しかったです。また、仕事を成し遂げた成果は、とても気持ちの良いものでした。

7 月と 10 月に高校生ボランティア体験講座に参加をしました。この講座の目的は、ふれ愛みんなのフェスティバルの一つのコーナーを豊川市内の 6 校の高校生が 1 から作り上げることをするため、どんなことをするか話し合うためでした。しかし、その 1 日では決まらず、別の日に集まって相談することになったのですが、私たちは都合がつかず、参加することが出来ませんでした。当日は、主に小学生以下の子どもたち、お年寄り、障害のある人たちがリクレーションをする際の手伝い、運営を行いました。また、チラシ配りもしました。私の担当したコーナーでは、様々なハンディを付けてボーリングをして、体の不自由さを体験すると言うものでした。例えば利き手とは逆でボールを投げたり、腕に重りをつけてボールを投げるハンディを用意しました。体験してみると、自分が考えている通りに体が動かず、もどかしさを感じました。こんな時に誰かが手を差し伸べてくれたらと身を持って感じました。また、このボランティアに参加したことは、他校の生徒との繋がりも多く、先日行われた「いなりんピック」のボランティアと一緒に参加することが出来ま

した。

8月には、3年生の生徒4名が、青少年ボランティア体験学習に参加をしました。2名ずつ別の施設にお世話になりました。1つはベルマークの分別、もう1つは高齢者の方々と触れ合いでした。高齢者の方々は普段話さないで、貴重な体験をすることができ、良い経験となったそうです。また将来の目標に向けて、ボランティアとして高齢者の方と触れ合いが出来たことは、今後の進路に活かしていきたいということです。

毎年9月に行われる本校の文化祭では、生徒会企画として東北復興支援を行いました。具体的には、東北復興支援物資販売校の参加校として、学園祭プロジェクトに参加をしました。せんべいやクッキーなどを販売し、その売り上げを寄付しました。初めての試みでしたが、大盛況で予定していたものは全て売り切れました。また、同時に熊本地震への募金も行い、バザーの売上の一部を募金しました。この活動は、ぜひ来年の生徒会も引き継いでもらいたいと考えています。

11月には、赤い羽根共同募金を本校で行いました。昨年度から文化委員の生徒たちにも協力をお願いして、生徒会役員と文化委員が、本校の昇降口前で募金への協力を呼び掛けました。本年度は32,882円が集まりました。1人100円のお願いをしていますが、なかなか達成できません。呼びかけの方法を工夫しながら、この活動も継続したいです。

12月には、本校独自の行事、クリーン大作戦があります。この行事には476人の生徒が参加をしました。小坂井駅や豊川放水路、国道151号線などで一斉にゴミを収集します。地域の方々や通学路に日頃の感謝の気持ちを込めて、ゴミを集めることは勿論ですが、資源分別も徹底的に行い、地域におけるボランティア活動の身近さを参加者全員が理解して活動します。実際に清掃活動を行ってみると、想像以上にゴミが多くことに毎年驚きます。中には、夢中になってゴミ拾いをし、袋が足りなくなってしまう生徒もいます。このような活動をすることによって、ボランティア活動をするチャンスは身近にあることを一人でも多くの人に知ってもらえるようにしたいです。また、本校のボランティア活動の充実のために、努力をしていきたいです。

以上が、今年度、本校が行ったボランティア活動です。私たち高校生は、今、多くの便

利なものに囲まれながら豊かな生活を送ることが出来ています。しかし、人々は助け合いの心が大切だと思います。一人でも多くの人にボランティア活動に参加してもらえるように、取り組みながら、自分を磨き、心の豊かさも大切にしていって欲しいと思います。これで、報告を終わります。ありがとうございました。

豊川工業高校の発表



今から愛知県立豊川工業高校HSVボランティア部のプレゼンテーション発表を行います。よろしくお願ひします。

私たち豊川工業ボランティア部は、1年生7人2年生10人の17人で活動しています。平日は、授業後ほぼ毎日、休日は地域のボランティアに積極的に参加をし、年間を通して約30回以上、地域のボランティア活動に参加をしています。活動の様子は、新聞記事にも取り上げて頂きました。

HSVボランティア部と言う名前のHSVは、私たちボランティア部のスローガンである「ハッピースマイルボランティア」の頭文字から来ています。全ての人々が笑顔で幸せになるようなボランティアを目指して行こうという思いから、この名前が付けられました。

活動内容について説明したいと思います。主な活動内容は、大きく分けて2つあります。1つ目は、子どもモノづくり教室です。子どもモノづくり教室は、月に1度、豊川市のプリオで行われる小学生対象の工作教室です。このボランティアは、地域の小学生の子どもたちに工作の楽しさなどを教える教室で、工業高校ということもあり、私たちは指導員として子どもたちに工具の安全で正しいやり方やパーツの組立を教えています。地域のボランティアの方々や、子どもたちの交流を深めるいい機会でもあり、子どもとの接し方や様々な体験談を聞く事ができ、とても勉強になっています。

2つ目は、本校ボランティア部が主催しているキャンドルナイトです。キャンドルナイトとは、毎年12月に豊川市総合体育館前広場で行われるイベントで、約2千本のキャンドルを使い、一つの文字を描きます。このキャ

ンドルナイトは、2つのことを目的としています。1つは、マリンアートを導入し、環境啓発をすることです。捨てられた貝殻を拾って洗い、マリンアートというオブジェを作り、LEDライトで照らします。マリンアート作りでは、洗った貝殻や瓶の破片を使ってドーム状のキャンドルホルダーを作ります。今年は猫を作りました。毎年違ったデザインを考えています。このマリンアート作りは、地元小学校で行われ、毎年、定員の2倍以上の応募が集まります。子ども一人一人が一生懸命にオブジェに思いを込めて製作してくれています。もう一つは、多くの人と繋がり合い、地域の絆を深めるということです。準備から本番当日まで多くの人の協力があるからこそ、キャンドルナイトは成功することができます。関わり合った人たちみんながお互いに感謝しあえるようにしていきたいです。スクリーンの写真は、今年度のキャンドルナイトの様子です。このイベントを成功させるために、文字決めをしたり、宣伝のためのポップカードやミサンガの作成をしたりと準備に半年以上掛けています。これらの作品に込められた思いを繋ぎ合わせ、今年度は「和」という文字を描きました。この「和」という漢字には、仲良くすること、互いに相手を大切にし、協力しあう関係にあること、争いをやめること、和を結ぶ、和を講じるなどの意味があります。「和」という文字にした理由は、部全体があまり仲良くなかったためでした。争い事がなく、穏やかに纏まるようにと、この文字にしました。地域の方から「綺麗だね」と声を掛けられたり、保育園や小学生の子ども達から「飾ってくれてありがとう」と御礼を言われたりして、多くの方々と交流を深める事ができ、忘れられない1日となりました。そして、今年もキャンドルナイトを行いますので、これから文字を決めて行きたいと思えます。

モノづくり教室、キャンドルナイトの他にも、豊川リレーマラソンや豊川市総合防災訓練など、1年間を通して様々な活動を行い、地域の役に少しでも立てるように日々頑張っています。これからも、ボランティアに積極的に取り組み、多くの人たちと繋がりを大切にしていきたいと思えます。以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

宝陵高校の発表



平成28年度、愛知県立宝陵高等学校ボランティア活動報告を始めます。今年度のボランティアに参加した時の様子や参加さ

せて頂いた施設など紹介します。

5月に長屋病院ふくろう祭りに参加しました。このボランティアには福祉科の生徒2名が参加し、輪投げコーナーでお手伝いをしました。

6月に豊川リレーマラソンに参加しました。今年は衛生看護科17名が参加しました。AED待機として、各地点に配置され、大きな声援を送りました。

6月半ばには、豊橋まちなか歩行者天国のボランティアに2名が参加しました。来場者にアンケートを書いたり、ゲームの説明やパンフレットを配り、案内場での仕事を行いました。秋にも同様のボランティアが行われ、福祉科の生徒5名が参加しました。

8月に新城市西部福祉会館でボランティアに参加しました。健常児との交流や重度心身障碍児の見守りなどを行いました。思い出新聞づくりやフルーツポンチづくりを行いました。

豊川市民病院納涼祭にも参加をしました。製菓部の生徒は、来場者への宝陵クッキーの配布、その他の生徒は団扇の配布や盆踊りに参加し、納涼祭を盛り上げました。

12月には、手を繋ぐ育成会のクリスマスのボランティアに参加し、会場準備や片付け、コーヒーやうどん、景品の配布、カレーやスイーツ作りなどを行いました。

施設のイベントなどのボランティア以外に、身寄りのないお年寄りや、児童施設の子ども達に愛の年賀状を書きました。暖かな気持ちで年始が迎えますようにとの願いを込めて送りました。

他にも、1学期と夏休みには、各施設の夏祭りに参加させて頂きました。更に、納涼祭や施設以外のボランティア活動も行いました。

2学期には、豊橋まちなか歩行者天国、トヨカワシテイマラソン、ふるさと満喫祭りといったイベントの他に、施設の秋祭りにもボランティアとして参加をしました。

3 学期には、ジャンプ祭りと本日の交流会に参加させて頂きました。

今年度参加したボランティアの団体と施設の数は、8 団体 21 施設でした。ボランティアに参加した生徒の数は、延べ 208 名でした。

3 年間で 10 回以上ボランティアに参加した功労者として、平成 28 年度は、衛生看護科の生徒 6 名が表彰されました。

来年度は、今年度の参加人数を越えることを目標に友達同士、クラス、部活、各科で誘い合い、声を掛け合って、積極的にボランティア活動に参加していきたいと思えます。以上で報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

★交流会

例会後に交流会を行いました。

テーマ

「今後、どのようなボランティア活動に携わってみたいか？」

意見のまとめ

- ・学校で学んだことを活かしたボランティアを行いたい
- ・人間性を豊かにするため、新たな発見に繋がるボランティアをしたい
- ・休暇だけでなく、平日にもボランティアをしていきたい
- ・参加しやすいボランティアにしたい。申し込みの簡素化。
- ・各学校間とのネットワークを充実させ、情報交換をしていく。



★ニコニコボックス

土井昌司会員 本日の例会を担当します
近藤哲司会員 色々と祝って頂き

★TASC 活動の報告

3 月 26 日に行われた第 8 回徳の国ハーフマラソンに今年も 17k 付近で、沿道から皆さんに声援を送りました。

今回は、高桑会員が大塚食品さんをお願いをして水の提供頂きましたので、ランナーの皆さんに給水もさせて頂きました。



会報担当：中村嘉輝会員・中西弘徳会員